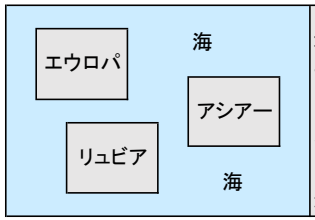
系図によるギリシャ神話(シート④)・・・・オーケアノスとテテュスの子供（ヘルメス・アテナ達）

ウラノス ― ガイア

17人のうち3人の子

①	②	③
イアペトス	オーケアノス	テテュス
ゼウスとクロノスの戦いで、ゼウス側に負け、奈落に落とされた	大洋の神で長男	地下水の女神



・地上の全ての河川や泉の水は、大洋の神オーケアノスの水が分かれて地下を通り、地上に現れると考えられていた。

・世界は丸くなっており、大洋＝オーケアノスが周囲を取り囲み、真ん中に、エウローパ（ヨーロッパ）、アシアー（アジア）、リュビアー（アフリカ）の三つの領域・大陸があることになっている

オーケアノスとテテュスの娘たちで、3000人の太陽の娘達（オーケアニデス）、さらに3000を越える河川の子供達を作った

①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬
クリュメネー	ドリス	アシアー	ペルセイース	プルートー	ディオーネ	エレクトラ	エイデュイア	カリロエ	エウリュノメー	メーティス	スティクス	ポタモイ
ゼウスとは同世代	ポントスの子ネーレイスと50人の娘達を生んだ ➡Seat⑤	アジア大陸の由来	ヘリウスとペルセースとキルケを産んだ ➡Seatメディア	ペルセポネーの友達	天空の女神タンタロスとニオベを産む ➡Seatエレクトラ	ポントスの息子タウマースとイーリスを産む ➡Seat⑤	・末っ子で神々の勧めでコルキア王と結婚 ・メディアの母 ➡Seatメディア	ポセイドンとメドゥーサの子と結婚しエキドナを産んだ ➡Seat①	ゼウスとの間にカリスを産む ➡Seat④	知恵の女神ゼウスの最初の妻	・長女 ・ニケを産む ➡Seat⑤	その他3000の河川の神々

ゼウス ― 従弟同士の交わり

3人兄妹

①	②	③
エピメテウス	プロメテウス	アトラース
プロメテウスから反対されたが結婚した	・先見の明を持ち勝手に人間を造り、火も与えた ・コーカサス山脈のカズベク山の洞窟に幽閉された	ティータン神族がオリュンポスに敗れたので、ゼウスにより、罰として世界の西の果てで天空を背負う役目を負わされた

パンドラ
ゼウスがヘパイストスに作らせた人間、人間界に災いを起すために

マイヤ
8人のプレイアディスの長女

ゼウス
ヘラの嫉妬はない

プレーイオネ
・ペロポネソス半島中央部にあるアルカディアのキュレーネー山で生まれた
・「すばるは、おうし座の散開星団」である

カリス達
美と優雅を司る女神カリス達

アテナ
・戦い、知恵の女神で気の強い処女神
・ヘパイストスの精液がアテナに付着して生まれたエリクトニオスは、アテネの王になった
・ヘラと仲が良く、「パリスの審判」の結果を根に持ち、トロイ戦争で共同した

妖精

ヘルメス
伝令・商業の神
ゼウスの秘書
アプロディテと結婚
➡Seat③

パーン
・テューポーンに襲われた際に上半身が山羊、下半身が魚の姿になって逃げた
・マラルメの詩「半獣神の午後」では、午睡から目覚めた半獣神パーンが、二匹のニンフたちとの官能的な体験について、自問自答する様子を牧歌的に描いている
・羊飼いと羊の群れを監視する神で、半獣神

AD2世紀頃ロンゴスが「ダフニスとクロエ」を書いた。レスボス島の南東にある都市ミュティレーネーは、北部の都市メーテュムナと戦争になり、愛し合うクロエが拉致されたので、ダフニスは、救済をパンの神ニンフに頼んだ。クロエは解放されダフニスは感謝したが、クロエは、パンの神は浮気者で、信用ならない、というので、ダフニスは、自分は一生クロエを裏切らない、と主張した。

クロエ
・養女で羊飼い
・富豪夫婦の娘だったことが発覚
・牧人風の生活を変えなかった

ダフニス
・養子で山羊飼い
・大富豪夫婦の息子ということが発覚
・クロエと結婚する

他のSeatを参照	オリュンポス12神	女神
大洋	注釈	ティータン12神

モーリス・ラヴェルが、バレエ「ダフニスとクロエ」を作曲
・ドビュッシーが、「牧神の午後への前奏曲」を作曲